

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000034"/>	整理番号 <input type="text" value="11343"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="細胞を死へ導く細胞外器質タンパク"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="医薬"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="癌治療剤"/>		
目 的	<input type="text" value="低濃度で癌細胞を死に至らしめるタンパクを提供する。"/>		
技術概要	<p>哺乳類の細胞外基質タンパクであるDel1にアポトーシスを誘導する機能があることを発見した。その機能は34アミノ酸に限局しており、Del1としても、その部分だけ取り出してペプチドにしても作用する。</p> <p>Del1タンパクを癌の遺伝子治療に適用することにより、以下のような効果が期待される。</p> <p>A) Del1タンパクは本来が細胞外基質タンパクであるから、細胞外基質に強く沈着する性質がある。そのためDel1を癌の遺伝子治療に使用すれば、細胞死を誘導するアミノ酸配列は局所に沈着して高濃度となるため効果が上がり、周囲の健常部位へは拡散しないので副作用は少ない。</p> <p>B) Del1を産生した細胞が死んでしまった後も、細胞外基質に沈着したDel1タンパクは病巣に残り効果が持続する。</p> <p>C) Del1は血管内皮細胞に作用するタンパクであり、癌細胞そのものだけでなく、癌の栄養血管を傷害して効果を発揮する可能性がある。</p>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 E-mail: nubic@nihon-u.ac.jp